

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公開番号】特開2006-343607(P2006-343607A)

【公開日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2006-050

【出願番号】特願2005-170303(P2005-170303)

【国際特許分類】

G 0 3 G 21/20 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/00 5 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月27日(2008.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

整列配置された複数の潜像担持体と、

前記潜像担持体毎にそれぞれ近接して、前記潜像担持体の同一側面側に配置された複数の現像部と、

前記潜像担持体との間に前記現像部を挟んで、前記潜像担持体毎にそれぞれ配置された複数の画像書込部と、を備えた画像形成装置において、

前記画像書込部間に形成された間隙に冷却風を送出した後、前記現像部間に形成された間隙に前記冷却風を送り込むことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

装置内部の略中央に現像剤像を担持する無端ベルト状の中間転写体を配し、前記中間転写体のベルト側面に沿って前記複数の潜像担持体が整列配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記中間転写体は装置内部を上下方向に周回駆動され、前記複数の潜像担持体が前記中間転写体のベルト側面に沿って上下方向に整列配置されていることを特徴とする請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記現像剤像をシートに定着させる画像定着部を備えた請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の画像形成装置において、

前記現像部間に形成された間隙に送出された前記冷却風を、前記画像定着部周辺に送り込むことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 5】

前記画像書込部はモータによって回転する光走査部を備えていることを特徴とする請求項 1 から請求項 4 に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記冷却風が、前記光走査部が走査する光の進行方向に沿って前記画像書込部間の間隙に送出されることを特徴とする請求項 5 に記載の画像形成装置。

【請求項 7】

前記画像形成装置はカラー画像形成装置であることを特徴とする請求項 1 から請求項 6

のいずれかに記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

上記の目的を達成するために、本発明に係る請求項1に記載の画像形成装置は、整列配置された複数の潜像担持体と、潜像担持体毎にそれぞれ近接して、潜像担持体の同一側面に配置された複数の現像部と、潜像担持体との間に現像部を挟んで、潜像担持体毎にそれぞれ配置された画像書込部と、を備えた画像形成装置において、画像書込部間に形成された間隙に冷却風を送出した後、現像部間に形成された間隙に冷却風を送り込むように構成する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項2に記載の画像形成装置は、請求項1に記載の画像形成装置において、装置内部の略中央に現像剤像を担持する無端ベルト状の中間転写体を配し、中間転写体のベルト側面に沿って複数の潜像担持体が整列配置されるように構成する。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

請求項3に記載の画像形成装置は、請求項2に記載の画像形成装置において、中間転写体は装置内部を上下方向に周回駆動され、複数の潜像担持体を中間転写体のベルト側面に沿って上下方向に整列配置するように構成する。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

請求項4に記載の画像形成装置は、現像剤像をシートに定着させる画像定着部を備えた請求項1から請求項3のいずれかに記載の画像形成装置において、現像部間に形成された間隙に送出された冷却風を画像定着部周辺に送り込むように構成する。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

請求項5に記載の画像形成装置は、請求項1から請求項4に記載の画像形成装置において、画像書込部がモータによって回転する光走査部を備えて構成される。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

請求項6に記載の画像形成装置は、請求項5に記載の画像形成装置において、光走査部が走査する光の進行方向に沿って、冷却風が画像書込部間の間隙に送出されるように構成する。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

請求項7に記載の画像形成装置は、請求項1から請求項6のいずれかに記載の画像形成装置をカラー画像形成装置として構成する。上記手段・構成によれば、以下のような作用効果が得られる。